



“ペンギン繁殖プロジェクト”の新たな拠点 ペンギン王国を繁殖研究施設「ペンギンベース」としてリニューアル



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2022年2月に閉館したペンギン王国を、この度、繁殖研究施設「ペンギンベース」としてリニューアルいたしました。

パークでは1978年よりペンギン類の飼育を始め、1990年からは自然界のペンギンコロニーを再現すべくペンギンプロジェクトを立ち上げ、本格的に繁殖研究をスタートさせました。国内で唯一繁殖に成功したエンペラーペンギンをはじめ繁殖研究に努め、現在は、国内で最も多い8種類約500羽を飼育しています。飼育、繁殖に関するノウハウは他の飼育施設とも共有し、ペンギンの種の保存に貢献してまいりました。これまでの経験を活かしさらなる技術向上、研究の促進をはかるため、この度「ペンギン王国」は「ペンギンベース」へとリニューアルしました。今後はより繁殖に適した環境を整えることで、飼育するペンギンの行動データの収集、解析を進めます。これからものちを育み、伝え、未来へと繋いでいきます。

【報道関係者のみなさまへ】

取材をご希望される場合、施設内を撮影いただけますので、事前にご連絡くださいますようお願いいたします。

<リニューアルについて>

「ペンギンベース」は、より大きなコロニー（繁殖群）形成のため、飼育エリアの陸地面積が以前の約2倍（陸地面積：206㎡）となったほか、エンペラーペンギンやアデリーペンギン、ヒゲペンギンなどの極地に生息するペンギン類の飼育、繁殖施設として利用できるように、温度が0～5℃まで設定可能となりました。

「ペンギンベース」は非公開施設となりますが、繁殖期の初期人工育雛の様子などについては一時公開を予定しているほか、教育活動の場として一部エリアを公開する予定です。

◆施設名

ペンギンベース（PENGUIN BASE）※ペンギンの繁殖研究施設として一般公開はいたしません。

<「ペンギンベース」飼育エリアについて>

総面積：261㎡（旧：145㎡） 陸地面積：206㎡（旧：105㎡）

最低室温：0℃（旧：12℃） 飼育可能羽数：約200羽（旧：約100羽）





【ペンギン繁殖プロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとキタイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。2004年には国内初となるエンペラーペンギンの繁殖に成功し、以降15羽の赤ちゃんが生まれ育っています。現在は、国内で最も多い8種類約500羽を飼育しています。

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという”小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

